

(7) 芦川地区

・施設配置状況

主要な施設は芦川ふれあいプラザ周辺と、芦川農産物直売所の周辺及び、芦川支所周辺に配置されており、合計 22 施設（11 用途）を配置しています。

芦川地区のみが保有する教員住宅や、商業・観光施設の保有量の割合が大きい特徴が挙げられます。（図 3-19）

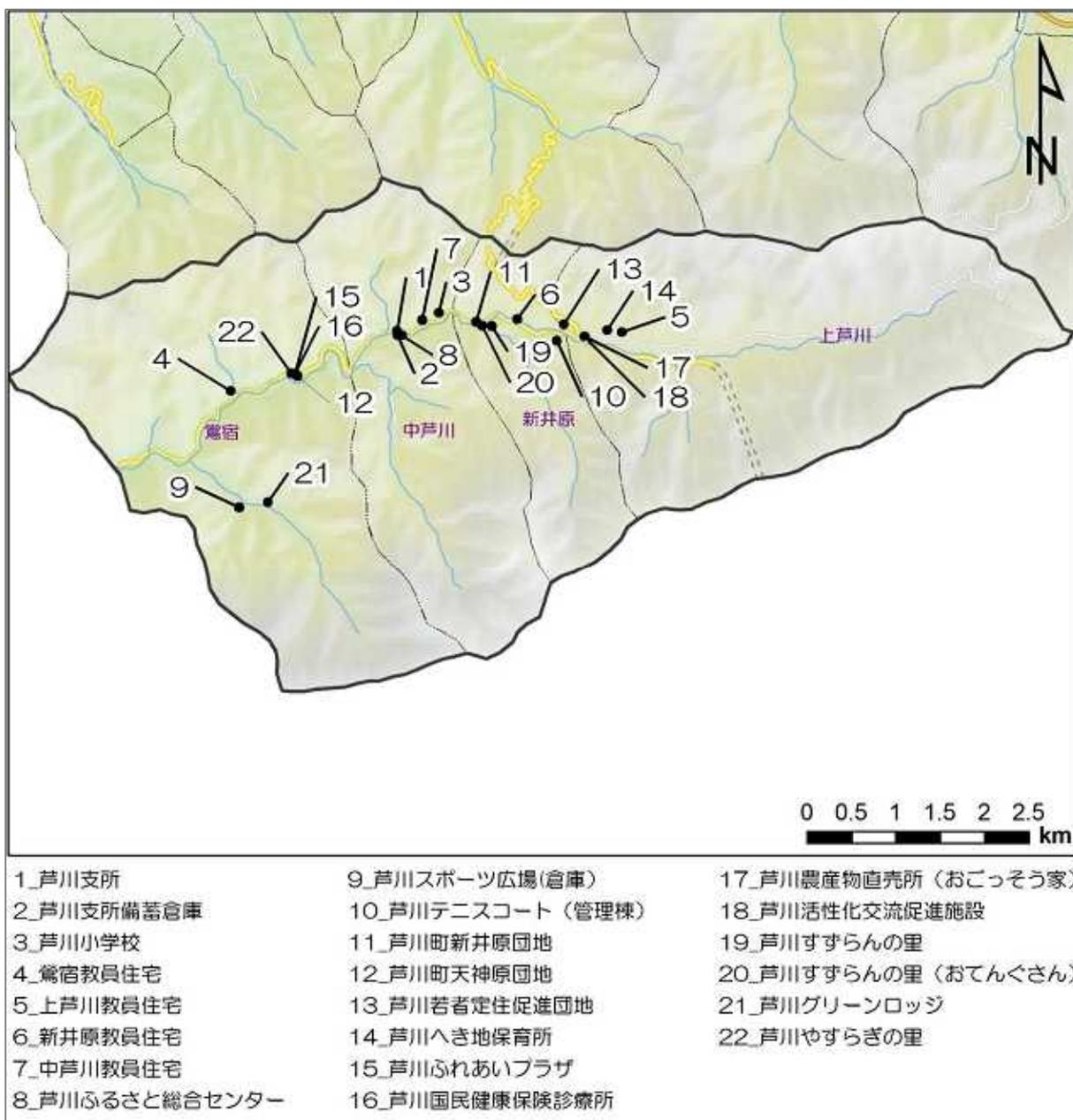


図 3-19 芦川地区の施設配置状況

・保有施設の現状

芦川地区は22施設(33棟)、延床面積8,056.22㎡(市全体の延床面積の3.6%)を保有しており、住民一人当たり延床面積は16.41㎡/人となっています。(表3-9)

保有施設の用途別内訳を見ると、商業・観光施設(6施設)の割合が26.3%と最も大きく、小学校(1校)の20.3%、市営住宅(3施設)の12.1%を合わせて延床面積の58.7%を占めています。

大規模改修を検討する目安となる築30年以上経過した建物の施設延床面積の割合は20.9%と低いことから老朽化が最も進行していない地区であるといえますが、庁舎では70%以上となっています。

施設維持管理コストは42,877千円と市全体の2.7%を占めており、一人当たりで見ると87.3千円/人と最も高くなっています。

施設用途類型	施設延床面積(A)			築30年を経過した建物(B)		施設維持管理コスト		
	延床面積	住民一人当たり	構成比	延床面積	構成比(B÷A)	合計	住民一人当たり	構成比
庁舎	1,010.30㎡	2.06㎡/人	12.5%	739.36㎡	73.2%	11,014千円	22.4千円	25.7%
消防・防災施設	122.00㎡	0.25㎡/人	1.5%	-	-	-	-	-
小学校	1,633.00㎡	3.33㎡/人	20.3%	572.00㎡	35.0%	5,301千円	10.8千円	12.3%
教員住宅	426.00㎡	0.87㎡/人	5.3%	66.00㎡	15.5%	-	-	-
集会所	1,144.14㎡	2.33㎡/人	14.2%	-	-	3,762千円	7.7千円	8.8%
体育施設	66.33㎡	0.14㎡/人	0.8%	-	-	2,479千円	5.0千円	5.8%
市営住宅	974.90㎡	1.99㎡/人	12.1%	-	-	2,736千円	5.6千円	6.4%
保育所	230.00㎡	0.47㎡/人	2.9%	-	-	3,729千円	7.6千円	8.7%
高齢福祉施設	247.76㎡	0.50㎡/人	3.1%	-	-	1,126千円	2.3千円	2.6%
商業・観光施設	2,123.72㎡	4.33㎡/人	26.3%	306.00㎡	14.4%	9,730千円	19.8千円	22.7%
保健・衛生施設	78.07㎡	0.16㎡/人	1.0%	-	-	3,000千円	6.1千円	7.0%
合計	8,056.22㎡	16.41㎡/人	100.0%	1,683.36㎡	20.9%	42,877千円	87.3千円	100.0%

表 3-9 芦川地区の施設用途類型別の状況

・人口動態

芦川地区は、491人を有しており、将来人口推計から平成37年度に総人口が329人（162人減、-33.0%）平成52年度には223人（268人減、-54.6%）となり、年少人口が20人（9人減、-31.0%）高齢者人口が103人（166人減、-61.7%）となることから、3つの年齢階級の全てで人口減少が見込まれる地区となります。（図3-20）

このため、今ある施設8,056.22㎡（住民一人当たり16.41㎡/人）を全て保有し続けると、住民一人当たり延床面積は平成37年度に24.49㎡（1.49倍）平成52年度に36.13㎡（2.20倍）へと推移していきます。（図3-21）

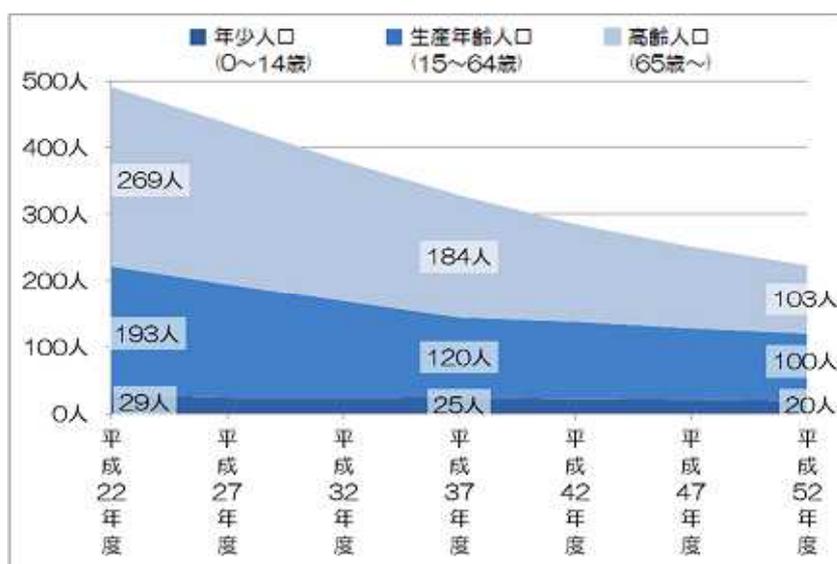


図 3-20 年齢階級別の人口推移

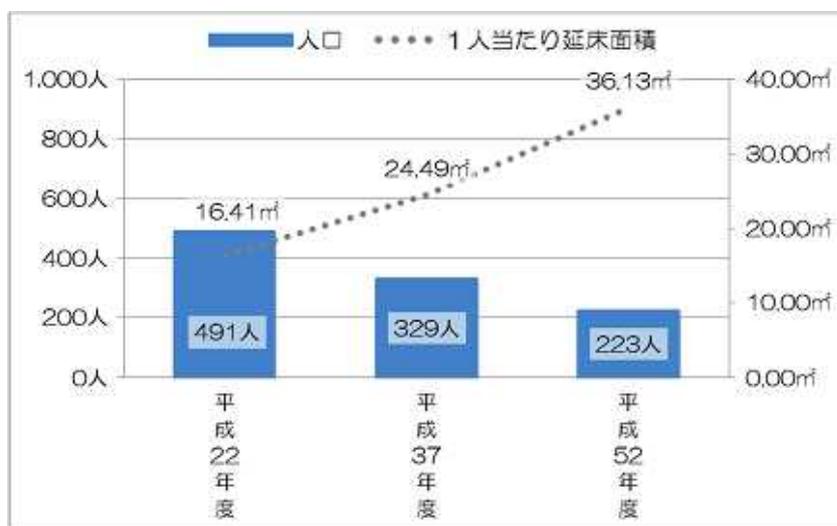


図 3-21 人口推移と住民一人当たり延床面積